第5回福井市再生可能エネルギー農山漁村活性化協議会

1. 開催日時
令和3年12月27日(月) 13:35~15:00
2. 開催場所
福井市役所本館3階 第3会議室(A)
3. 出席者
別紙 名簿のとおり
4. 会議の内容
 - 1 開会
 - 2 協議
事務局
基本計画(案)について
第4回協議会で指摘を受けたところを含めて、修正・加筆点を説明。
基本計画に記述がある設備整備計画について説明。
基本計画(案)を提案。
会長
協議・質疑応答
別紙2にもA地区と記入したほうがよい。
事務局
了承。
副会長
別紙1の合計欄に面積数値が未記入である。
事務局
追記する。
委員
別紙1の表にある地名が具体的にどこかわからない。
こういうもの、風力発電が山中でつくられると、今年の夏熱海であったような災害が起こらないか、心配になる。
事業者
まず、風力発電の設置場所については、令和4年2月から環境影響評価の準備書の地元説明の際に詳しい場所を明示した図面を持参して説明を行うので、それで改めて確認してほしい。
現在、林地開発の協議を福井県と行っているが、熱海で問題になった盛土の件については、今回の事業ではそれほど多くはないが土砂の設計については厳しくみてもらっ

	ている。
会長	地元説明の際にも、場所や盛土等について詳しく説明するように。
委員	地権者と契約は済んだのか。
事業者	地権者との契約は、まだである。今、林地開発協議の中では、同意書で動いている。環境影響評価の最中なので、様々の審査を受けている。その中で「渡り鳥のルートなので、風車の位置をずらす必要がある」と指摘を受けると、風力発電の場所が変わるので、風力発電の場所が固まってから契約書の取り交わしになる。令和4年以降の予定。
委員	個人の地権者ばかりなのか。
事業者	個人が多いが、行政もある。
委員	風車の搬入の中で、二枚田幹線林道の拡幅は必要ないのか。
事業者	風車の羽根は立てて運ぶので、推定では、2,3箇所の軽微な拡幅で済む予定。
副会長	基本計画の中に複数箇所、記載があるが、発電設備の規模は最大 50,000kW と記載されていて、4,300kW 級を最大 13 基では計算があわないが、どういう考えか。
事業者	50,000kW は北陸電力との契約で決められている数量で、それ以上の電力を北電に流してはいけない決まりである。 風車側に全体をコントロールするファームコントロールを取り付けて、全量 49,999kW になるように運転している。年間の再生可能エネルギー設備効率が風力で 20～30%と言われているので、全部がフル稼働することはないが、コントローラーで制御するシステムを用いている。
会長	4,300kW 級×13 基だと 50,000kW を超えてしまうので、設備の規模という表記が足かせにならないように確認

	を。
事務局	了承
会長	<p>「基本計画（案）」の採決 修正事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙 1 に合計欄に数値記入 ・別紙 2 に A 地区追記 ・2 ページ 発電設備の規模について表記に問題ないか確認、必要あれば修正。 <p>以上、3 点の修正を反映したものとして採決を行う。</p> <p>8 名の委員が賛成。「基本計画（案）」は承認。 今後、事務局で本日の指摘を修正の上、策定。</p>
事務局	<p>アクションプラン（素案）について 運営協議会が中心となって、事業を進めていくので、市がすることではなく、活動主体としては、地元の方々であり、その内容を書いたものがこのアクションプランになる。</p>
事業者	<p>第 4 回協議会での意見を踏まえてまとめ直した素案を事業者が説明。</p>
事務局	<p>アクションプラン別表について説明。 地区ごとに何をしたいのか、自分たちの地区にあわせて記載がないものは追記。連合会長にとりまとめを依頼。</p>
副会長	<p>質疑応答</p> <p>タイトルを「農林漁業の整備」と表記されると内容は読まないとわからないので、「農林漁業に係る環境の整備」など内容が分かるタイトルにしてはどうか。</p> <p>「両立」と表記されると相反するものを成立させるイメージをもつが、生活の質と防災は相反するものではないと思うので、表現の再検討をしてほしい。</p> <p>アクションプランの順番が優先度 2 から記載されているので、優先度に従って順番入れ替えた方がよいのではないか。</p> <p>アクションプラン別表の今から記入してもらおうものについて、優先度が分かるように欄を追記したほうがよい</p>

のでは。

事務局

アクションプラン別表の調査票については、10個やりたいことがあっても1から10をつけるのではなく、1が複数あってもよい。
記入例を作成して、連合会長に送付させていただく。

事業者

表現について、事務局と検討しながら、対応する。

委員

森林整備について、一定規模の間伐などは国や県の補助事業で行うが、補助の対象にならないような小規模の間伐は環境譲与税の事業であるのか、このアクションプランであるのか、すみわけを誰がするのか。

会長

最終的には地元がどうしたいのか。どのメニューで実施したいのかの判断ではないか。

事務局

地元負担が負荷でできなかったこと、県や市に要望しても実現しなかったことなどに、この協議会の事業の枠組みを使う方法があってもいいと思う。

委員

地元は、補助事業とかに詳しくないので、市に相談に行ったときに「補助がいいですよ、環境譲与税の事業がいいですよ」など応えてくれると、助かる。

事務局

相談に来庁されて、様々な事業の説明をすることはできるが、市が「こちらがいいですよ」と決めることはしない。決めるのは皆さんが参加している運営協議会の場である。

委員

基本計画の6ページに記載のない地区名がある。明記することはできないのか。

事務局

6ページに地名の記載はないが、7ページには、記載している。

会長

地図に記載されているが、表には載っていない。
アクションプランの序文の中に、対象エリアを明記してはどうだろうか。

事務局	了解した。
会長	連合会長の委員の方々には、地区の方々とアクションプラン別表について、話し合っていたいただき、とりまとめをお願いします。
委員	「間伐材や倒損木を備蓄木に活用」の備蓄木とはどういうものなのか。
事業者	災害発生時の電気やガスの供給が得られない時に、暖をとったり煮炊きをしたりするのに、新たに木を伐採して薪を作るのではなく、廃棄処理するようなものを備えておけばいいのでは、というアイデア。
委員	いつまでに資金の配分案が決まるのか。
事務局	まだ、全地区からの回答を得ていないので、とりまとめでき次第報告します。

3 次回 第6回 令和4年春ごろ 開催予定

4 閉会 終了

福井市再生可能エネルギー農山漁村活性化協議会 名簿

役職	所属	出欠
委員	東洋大学経済学部総合政策学科 教授	○
委員	HARU 環境技術士事務所代表	○
委員	鷹巣自治会連合会長	○
委員	国見自治会連合会長	○
委員	棗自治会連合会長	○
委員	鶉自治会連合会長	欠
委員	本郷自治会連合会長	欠
委員	安居自治会連合会長	欠
委員	福井森林組合代表理事組合長	○
委員	福井県農業協同組合 福井基幹支店 営農部部长	○
委員	日本風力エネルギー(株) 事業開発 シニアマネージャー	○
委員	福井県福井農林総合事務所林業部長	○
委員	福井市農林水産部農政企画課	欠
委員	福井市市民生活部環境廃棄物対策課	○
事務局	福井市農林水産部林業水産課	○